

令和7年度

事業報告書

1 評議員会・理事会

月 日	場 所	会 議 名	議 題
6月5日 (木)	京都ガーデンパレス	第54回理事会	1 報告事項 ・令和7年度業務報告 ・令和6・7年度発掘調査状況報告 2 議決事項 ・令和6年度事業報告及び決算報告 ・定時評議員会の招集 3 退任理事ご挨拶 4 その他
6月23日 (月)	京都ガーデンパレス	第19回評議員会	1 報告事項 ・令和6年度事業報告 2 議決事項 ・令和6年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認 ・理事及び監事の選任について 3 その他
6月23日 (月)	書面	第55回理事会	・代表理事の選定 ・業務執行理事の選定
8月5日 (火)	都ホテル京都八条	役員協議会	1 報告事項 ・令和7年度業務報告 ・令和7年度発掘調査状況報告 2 その他
11月18日 (火)	センター 向日市文化資料館	第56回理事会	1 報告事項 ・令和7年度業務報告 ・令和7年度発掘調査状況報告 2 議決事項 ・令和7年度収支補正予算について 3 設立45周年展覧会「古代のくらし」視察
3月23日 (月)	京都ガーデンパレス	第57回理事会	1 報告事項 ・令和7年度事業報告 ・令和7年度発掘調査状況報告 2 議決事項 ・令和7年度収支補正予算 ・令和8年度事業計画及び収支予算 ・令和8年度役員賠償責任保険契約締結 3 その他

2 運営体制の充実を図るための取組

上記のように評議員会や理事会を開催し、受託事業の進捗状況等の報告をしたうえで、意見を伺っている。また、理事には、発掘調査現場における現地指導や主催展覧会の視察、セミナーへの参加を通して、発掘調査現場や各種取組の状況把握を進めていただくとともに、指導をいただいている。理事による発掘調査現場の現地指導については、昨年度に比べて回数を増やし充実を図っているところである。

従前から、歴史学や考古学、地質学等の専門家を外部理事として、法人制度に精通した他法人職員と公認会計士を外部監事として選任している。令和7年度は理事・監事の改選があったが、引き続き、同様に外部理事・監事を選任するとともに、新しく保存処理分野を専門とする理事にも就任いただいている。

3 主務官庁の許可・認可又は承認の状況

年 月 日	許可等の事項
令和7年6月30日	京都府知事へ令和6年度事業報告書及び収支決算について提出
令和8年3月31日	京都府知事へ令和8年度事業計画書及び収支予算について提出

4 熱中症への対応

近年の夏季を中心とした高温傾向に伴い、全国的に職場における熱中症による労働災害が増加し、省令改正などにより、国からその対策の強化が求められたことも踏まえ、当調査研究センターでは「発掘調査現場運営マニュアル」のなかに、新たに「熱中症対策マニュアル」を策定し、各発掘調査現場等において具体的な取組を実施した。

その結果、発掘調査地内等における熱中症の発生や重篤化を抑制することができたと考えている。

5 公益目的事業の実施状況

従前から継続して、国、京都府、ネクスコが事業主である、道路建設や圃場整備、施設建設等の公共事業に先行する発掘調査（整理作業等含む。）を受託し実施することにより定款第3条に規定する目的に沿った公益性ある事業に取り組んでいる。

また、発掘成果を地域住民や府民にお知らせした取組として現地説明会や各種の普及啓発事業を積極的に行うことにより、上記目的に沿った地域の文化的向上及び発展に資する取組を推進している。

公益目的事業の質を向上させるため、職員による各種講座や講演会への講師としての活動や共同研究等の充実にも取り組んでいる。

令和7年度においては、法人設立45周年の記念事業を実施するなど臨時的な取組も推進しつつ、これまでにない規模（契約額14億12百万円）の発掘調査受託事業について、円滑に業務執行を行うことができた。

（1）発掘調査受託事業

令和7年度は、21件の事業を受託しており、契約額は1,412,246,246円である。内訳は、別添資料1のとおりである。

区 分	当初予定 (A)	契約実績 (B)	差異 (B) - (A)
受託事業費	1,508,000,000円	1,412,246,246円	95,753,754円 (減)
契約件数	24件	21件	3件 (減)
発掘調査 (北部)	3件	2件	1件 (減)
発掘調査 (中部)	6件	5件	1件 (減)
発掘調査 (南部)	6件	6件	0件
発掘調査 (市町支援)	2件	2件	0件
整理報告	5件	4件	1件 (減)
普及啓発	1件	1件	0件
出土品整理	1件	1件	0件

現地説明会や現地見学会などの実施状況は、次表のとおりである。

開催日	遺跡名	備 考
令和7年5月17日 (土)	墓の平古墳群 (井手町)	現地説明会 参加者40名
令和7年6月28日 (土)	長岡京跡 (宮第549次) (向日市)	現地説明会 参加者285名
令和7年8月10日 (日)	上安久1号墳 (舞鶴市)	現地説明会 参加者69名
令和7年10月25日 (土)	長岡京跡 (宮第549次) (向日市)	現地説明会 参加者149名

開催日	遺跡名	備考
令和7年10月26日(日)	京丹後市大宮町周枳地区	文化祭 遺物・パネル展示 見学者約200名
令和7年11月22日(土)	千代川遺跡第38次N地区 (亀岡市)	現地説明会 参加者191名
令和7年12月13日(土)	田辺城跡(舞鶴市)	現地説明会 参加者63名
令和7年12月20日(土)	三分井根遺跡(京丹後市)	現地説明会 参加者64名
令和8年1月16日(金) ～2月8日(日)	長岡京跡(宮第549次) 調査成果速報展 (向日市文化資料館)	入館者1,159名

調査を実施した事業のなかで、特に、顕著な調査成果が得られたものは、次表のとおりである。

番号	遺跡名	所在地	主要調査成果等
4	上安久1号墳	舞鶴市上安久	古墳時代中期の円墳(径約27m)を調査。墳頂部中央付近で木棺直葬の埋葬施設を検出。棺内から、中国製の鏡をはじめ、玉類、刀剣類、馬具、鉄鏃、堅櫛などが出土。このほか墳頂部で経塚1基を検出。
6	千代川遺跡	亀岡市千代川町	N地区では、弥生時代中期～後期の竪穴建物28基以上、方形周溝墓3基、木棺墓29基等を検出。当該期の大規模な集落の確認は初めて。磨製石器の製作や近江系土器などが出土。 I地区では、弥生時代後期～古墳時代前期の流路や、古墳時代前期の堰板や槽を用いた水の祭祀に関わる導水遺構を検出。
8	三分井根遺跡	京丹後市峰山町	古代～中世の溝から封緘木簡や鉄鉢形の須恵器などが、また近接して円面硯が出土しており、調査地周辺に公的な施設があったと推定される。
9	長岡京跡	向日市寺戸町	長岡宮域の西辺部を調査。南北二十間、東西三間の大型掘立柱建物をはじめ、宮内道路の側溝や区画溝、小規模な掘立柱建物などを検出。また、小型の円墳2基も確認。
10	墓の平古墳群	綴喜郡井手町	飛鳥時代の円墳(径11.2m)を調査。両袖式の横穴式石室を検出。床面から、棺台とみられる石材を検出し、須恵器や土師器、鉄製釘が出土。墳丘やその周辺は中近世に再利用され、室町時代～江戸時代の五輪塔や板碑が出土。

調査報告書については、各 300 部印刷し、以下のとおり刊行した。内容は、別添資料 2 のとおりである。

- 『京都府遺跡調査報告集 第 198 冊』 令和 7 年 6 月 20 日
- 『京都府遺跡調査報告集 第 199 冊』 令和 8 年 3 月 31 日
- 『京都府遺跡調査報告集 第 200 冊』 令和 8 年 3 月 31 日

(2) 普及啓発事業

令和 7 年度は、当調査研究センター設立 45 周年の節目であった。そのため、記念事業として展覧会や特別講演会を実施するとともに、5 年度ごとに刊行している『京都府埋蔵文化財論集』の刊行をした。なお、設立 45 周年に係る「展覧会」や「特別講演会」のほか、例年実施している「埋蔵文化財セミナー」「埋蔵文化財リーフレット」「京都の歴史体験講座」「夏休み考古学体験講座」「出土文化財再整理事業」等は、京都府教育委員会の委託事業として実施した。

また、機関誌『京都府埋蔵文化財情報』の刊行や例年実施している出前講座・体験授業等のほか、兵庫県立考古博物館・大中遺跡公園で実施される大中まつり古代体験フェスティバルに考古学体験ブースを出展した。このほか、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック「関西考古学の日 2025」関連事業として考古学講座を 2 講座開催した。

なお、職員の資質向上を目途に取り組んでいる共同研究事業は、共同研究・個人研究を合わせて 6 件を実施した。

最後に、当調査研究センターでは、学術研究や埋蔵文化財保護の啓発事業として「資料調査」の受入れや展覧会等の開催に伴う出土品の「資料貸出」、「画像掲載依頼」に伴う画像提供を随時行っている。

(ア) 設立 45 周年記念事業

○設立 45 周年関連展覧会（京都府教育委員会委託事業）

「古代の暮らし」と題して、旧石器時代から古墳時代までの暮らしの様子を当調査研究センターの発掘調査資料などを用いて、10 のテーマで紹介した。

- ・会 場：向日市文化資料館
- ・会 期：令和 7 年 10 月 25 日（土）～11 月 30 日（日）
- ・観覧者：2,227 名

○特別講演会（京都府教育委員会委託事業）

設立 45 周年関連展覧会「古代の暮らし」に関連した講演会を開催した。

- ・テーマ：古代の暮らし
- ・会 場：京都 J A ビル
- ・開催日：令和 7 年 11 月 23 日（日・祝日）
- ・特別講演「稲作のはじまりー弥生・古墳時代の米作りの技術ー」
当調査研究センター理事長 上原 真人
報 告「木製品からみた古代の暮らし」
当調査研究センター調査員 新美 祥人夢
- ・参加者：71 名

- 『京都府埋蔵文化財論集』第9集の刊行 令和8年3月 500部
 創立45周年を記念し、日々の研究活動を積極的に進めた成果を公表する機会として、論集（第9集）を5年ぶりに刊行した。考古学・歴史学に関する論考や資料紹介を中心に、文化財の保存技術、文化財行政史、堆積学など多岐にわたったものとなった（執筆者は、理事、センター職員、府職員、OBの計33名）。

(イ) 埋蔵文化財セミナー（京都府教育委員会委託事業）

埋蔵文化財セミナーは、発掘調査成果の発表を通じて京都府の歴史に関わる情報の発信と文化財への理解を深め、保護に寄与するため開催し、今年度は2回実施した。

回数	開催日	実施内容	会場
158	令和7年7月 27日(日)	『京都府の古墳時代』 ・京丹後市網野銚子山古墳の調査と公園整備 京丹後市教育委員会文化財保存活用課 岡林峰夫 ・亀岡市千代川遺跡・拝田14号墳の調査 当調査研究センター 山本 梓 ・最新の古墳時代像と京都府の古墳時代遺跡 大手前大学国際日本学部教授 森下章司	京都府立山城 郷土資料館 (ふるさとミュージアム山城) (参加者107名)
159	令和8年3月 7日(土)	『京都府内の首長墳』 ・舞鶴市上安久1号墳の調査 当調査研究センター 荒木瀬奈 ・国史跡乙訓古墳群・長岡京市井ノ内稲荷塚古墳の調査 (公財)長岡京市埋蔵文化財センター 中島皆夫 ・国史跡綴喜古墳群と南山城の前期古墳 京都府教育庁指導部文化財保護課 桐井理揮	京都J Aビル (参加者111名)

(ウ) 機関誌

当調査研究センターの発掘調査状況の速報や埋蔵文化財の調査、研究及び保護に資するために『京都府埋蔵文化財情報』を年2回刊行した。内容は、別添資料2のとおり。

第149号	9月刊行	1,500部
第150号	3月刊行	1,500部

(エ) 埋蔵文化財リーフレット（京都府教育委員会委託事業）

『もっと知りたい京都の遺跡』と題して、府内の発掘調査の成果を発信するリーフレットを年2回発行した。

- ・第17号 「百花繚乱」 2月発行
 - ・第18号 「HANIWA on stage」 3月発行
- 【A3版、二つ折り、カラー刷り、各5,000部】

(オ) 京都の歴史体験講座（京都府教育委員会委託事業）

夏休み考古学体験講座として「勾玉をつくろう！」をはじめ、以下の講座等を実施した。

○夏休み考古学体験講座「勾玉をつくろう」

- ・開催日：第1回 令和7年8月13日（水）午前10時～ 参加者17名
- 第2回 令和7年8月13日（水）午後2時～ 参加者14名
- 第3回 令和7年8月18日（月）午前10時～ 参加者20名
- 第4回 令和7年8月18日（月）午後2時～ 参加者5名
- 第5回 令和7年8月19日（火）午前10時～ 参加者10名
- 第6回 令和7年8月19日（火）午後2時～ 参加者3名
- ・会場：当調査研究センター研修室
- ・対象：乙訓管内の小学5・6年生
- ・参加者：合計69名

○企画展示 展覧会「古代のくらし」 パネル展示

- ・会場：京都府立京都学・歴彩館京都学ラウンジ
- ・期間：令和7年12月1日（月）～12月25日（木）
- ・入場者：765名

○歴彩館ミニ講座（会場はいずれも京都府立京都学・歴彩館）

- ・参加者：3回合計240名
- 第1回「考古学からみた「食」」
- ・開催日：令和7年12月11日（木）
- ・講師：小池総括主査
- 第2回「住まいのうつりかわりを考える」
- ・開催日：令和7年12月18日（木）
- ・講師：山本係長

第3回「古代における信仰のかたち」

- ・開催日：令和7年12月25日（木）
- ・講師：小池総括主査

○京都府庁2号館1階ロビー展示

- ・展示名：「恭仁宮跡・特別史跡へ」
- ・期間：令和7年12月23日（火）～12月26日（金）

(カ) 地域・機関連携展示

- 長岡京跡宮第 549 次調査速報展
 - ・会 期：令和 8 年 1 月 16 日（金）～ 2 月 8 日（日）
 - ・会 場：向日市文化資料館
 - ・入館者：1,159 名

- 京都府立図書館・当調査研究センター連携展示「豊臣兄弟の時代」
 - ・会 期：令和 8 年 2 月 6 日（金）～ 3 月 12 日（木）
 - ・会 場：京都府立図書館 2 階ナレッジスペース
 - ・入場者：1,339 名
- 京都府立図書館・当調査研究センター連携展示に伴う講演会「豊臣兄弟の時代」
 - ・開催日：令和 8 年 2 月 14 日（土）
 - ・会 場：京都府立図書館 3 階マルチメディアインテグレーション室
 - ・講 師：加藤主任
 - ・参加者：55 名

(キ) 出前講座・体験授業等

京都府教育委員会、各教育局、市町村及び府内小・中学校と連携して、出前講座や、講演会講師の派遣などを通して積極的な文化財保護の啓発を行った。

- 長岡京市立長法寺小学校 楽信すくすく教室「勾玉をつくってみよう」
（京まなび教室等特別講師派遣事業）
 - ・開催日：令和 7 年 7 月 31 日（木）
 - ・参加者 21 名
- 近江弥生文化セミナー「丹後の弥生王墓と地域間交流」
 - ・開催日：令和 7 年 8 月 24 日（日）
 - ・会 場：伊勢遺跡史跡公園
 - ・講 師：高野課長
- 向日市立西ノ岡中学校職場体験活動受け入れ
 - ・期 間：令和 7 年 8 月 28 日（水）～ 30 日（金）
 - ・参加者：3 名
- しだみ歴史講演会 2025「丹後における巨大前方後円墳出現の過程」
 - ・開催日：令和 7 年 9 月 27 日（土）
 - ・会 場：名古屋市しだみ古墳群ミュージアム
 - ・講 師：高野課長
- 舞鶴市西公民館郷土史講座「上安久 1 号墳と舞鶴の古墳」
 - ・開催日：令和 7 年 9 月 28 日（日）
 - ・会 場：舞鶴市西公民館
 - ・講 師：荒木主任
- 「いにしへのえひめ」講演会「弥生時代水田研究の新展開」
 - ・開催日：令和 7 年 10 月 11 日（土）
 - ・会 場：松山市考古館
 - ・講 師：辻調査員

- 精華町文化財愛護会講演会「椋ノ木遺跡の村と暮らし」
 - ・開催日：令和7年11月15日（土）
 - ・会場：精華町役場
 - ・講師：森島係長
- 島根県埋蔵文化財調査センター講演会「王墓への道 ―弥生墳丘墓成立の謎にせまる― 丹後の弥生墳丘墓」
 - ・開催日：令和7年11月29日（土）
 - ・会場：松江市市民活動センター
 - ・講師：高野課長
- スライドでみるおとくへの発掘
 - 「井ノ内遺跡をのぞいてみよう～中世びとの暮らしぶり～」
 - ・開催日：令和8年3月1日（日）
 - ・会場：大山崎ふるさとセンター
 - ・講師：松井調査員
 - ・参加者：100名

（ク）「学びのWEBラボ」活動への講師派遣等

府内の府立高校の生徒を対象に、オンラインで興味・関心に応じた課題に取り組む活動として京都府教育委員会が実施する「学びWEBラボ」の文化財をテーマとした「文化財ラボ」に、全8回の講義のうち3回に講師を派遣した。なお、参加者は府内の高校生11名である。

第1回（通算第3回）

- ・実施日：令和7年8月21日（木）
- ・講師：名村主任

第2回（通算第4回）

- ・実施日：令和7年9月24日（水）
- ・講師：竹村主任

第3回（通算第5回）

- ・実施日：令和7年10月29日（水）
- ・講師：筒井参事

このほか、令和7年8月19日（火）に対面交流会を実施し、センターでの整理作業と長岡京跡の現地調査の様子を見学する機会を設けた。

（ケ）「関西考古学の日2025」関連事業

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟10法人が各種イベントを開催する「関西考古学の日2025」関連事業として、記念講演会への講師・職員の派遣や京都の考古学や歴史を対象とする「秋の考古学講座」を開講した。

○記念講演会

- ・テーマ：「弥生時代遺跡の調査・研究」
- ・開催日：令和7年11月1日（土）
- ・会場：兵庫県立考古博物館
- ・講師：菅主任（演題「弥生墓から古墳へ
－松田古墳群（松田墳墓群）の発掘調査成果から－」）

○秋の考古学講座

第1講座「形象埴輪から古墳時代の社会を読み解く」

- ・開催日：令和7年10月18日（土）
- ・会場：センター研修室
- ・講師：筒井参事
- ・参加者：23名

第2講座「不思議な形の須恵器を読み解く」

- ・開催日：令和7年11月8日（土）
- ・会場：センター研修室
- ・講師：名村主任
- ・参加者：27名

(コ) 兵庫県立考古博物館・大中まつり古代体験フェスティバル出展

兵庫県立考古博物館・大中まつり古代体験フェスティバルにおいて考古学が体験できるブースを出展した。

- ・テーマ：「古代の軒丸瓦をつくってみよう」
- ・開催日：令和7年10月4日（土）
- ・参加者：135名

(サ) 共同研究

当調査研究センターにとって必要な調査研究を職員が共同ないし単独で行い、研究テーマに即した資料調査を実施する。その研究成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用資する。また、発掘調査報告書作成にあたり資料調査を実施した。

申請者	共同研究者など	テーマ	備考
竹村 亮仁 春名 英行	磯部 紗希 引原 茂治	丹波・丹後における弥生時代中・後期の手工業生産と流通 (国営亀岡事業報告書関連)	令和7年度～ 令和9年度
高野 陽子 菅 博絵	名村 威彦・辻 康男 新美 祥人夢・伊藤 雅法 石川 康紀	北近畿における弥生・古墳時代の地域社会の復元研究 (大宮峰山道路事業報告書関連)	令和6年度～ 令和8年度
新美 祥人夢	高野 陽子	水辺の祭祀にまつわる出土遺物の考古学的研究	令和6・7年度
北山 大熙	(個人研究)	由良川中流域における埴輪生産の展開	令和6・7年度
長谷川 愛	(個人研究)	京丹后市正垣遺跡出土琴形木製品の復元的研究	単年度
辻 大熙	(個人研究)	水田遺構の地形立地に関する基礎研究	令和7・8年度

(シ) 出土文化財再整理事業（京都府教育委員会委託事業）

八幡市美濃山遺跡第5～9次調査の出土品の再整理を行い、公開・活用が可能な状態にした。

(ス) SNSによる広報の取り組み

当調査研究センターの発掘調査に関する情報や普及啓発活動の案内について、「Facebook」「X」「instagram」による広報を行っている。

Facebookはフォロワー数が増加しており、令和6年度は約200人だったものが、令和7年度には約1,600人となっている。

Xの総閲覧数は、長岡宮跡の現地説明会の案内が約2,800回と、都城や古墳をテーマにしたものの閲覧数が多くなっている。なお、令和7年度の閲覧数は約35,000件（令和6年度約40,000件）であった。遺跡の内容や成果にもよるが、現地説明会やセミナーの結果報告で減少がみられた。

Instagramは、令和7年1月から運用を開始しており、徐々に「いいね」の数が増えている。

今後も引き続きSNSを活用して、迅速かつ広範囲に情報を発信していきたい。

(セ) 資料調査受入、資料貸出・写真提供事業

当調査研究センターでは、研究者や大学生の論文作成などの学術研究や博物館展示などの啓発事業に係る「資料調査」を受け入れている。また、展覧会等の開催に伴う出土品の「資料貸出」や「写真掲載依頼」に伴う写真提供を行っている。

6 その他

(1) 専門研修

文化庁主催の埋蔵文化財担当職員講習会をはじめ全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会や同協議会近畿ブロック主催の研修会、関係各機関実施の埋蔵文化財研究会等への参加、また、関係機関の施設見学や職員間の交流を通じて調査課職員の資質向上に取り組んだ。

一方、総務課職員を対象に公益財団法人公益法人協会主催の会計セミナーや法人セミナーに参加した。

主な研修は、以下のとおりである。

日付	研修会名	受講者
7月10日	公益法人協会セミナー	村山局長
7月14日	奈良文化財研究所専門研修「遺跡地図・GIS過程」	面主任
10月16日	会計セミナー実務編	鍋田補佐、葛本主任
10月17日	法人セミナー	常田次長、鍋田補佐
11月7日 ～8日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会	常田次長、竹村主任 菅主任

日 付	研修会名	受講者
12月12日	埋蔵文化財研修会「埋蔵文化財の調査における写真撮影の基礎と課題」	竹村主任、春名調査員
1月28日	埋蔵文化財担当職員等講習会（文化庁）	鍋田補佐、葛本主任
2月9日	会計セミナー	葛本主任、松浦主事
2月10日	会計セミナー	鍋田補佐、葛本主任
2月18日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会デジタル技術等活用推進委員会研修会	加藤主査、武本主任、面主任、名村主任、磯部調査員

(2) 一般研修

人権研修推進委員会が中心となって行う職場研修のほか、京都府教育庁主催の行政研修及び人権問題研修、公益財団法人世界人権問題研究センター開催の人権大学講座や、組織運営のマネジメント講習にも参加した。

○マネジメント研修

テーマ：「女性リーダーのためのリーダーシップ強化講座」

開催日：令和7年6月18日（水）

会 場：京都商工会議所

参加者：山本係長

○職員人権研修

講 師：富永 吉喜理事

テーマ：「共に生む（5）」

開催日：令和8年1月16日（金）

会 場：永守重信市民会館会議室

(3) 遺跡検討会

例年、大きな調査成果をあげ、報告書刊行に向けて整理作業が進む遺跡について、職員や理事、関係機関の協力を得て、遺構・遺物の検討を行い報告書に反映している。今年度は、京丹後市佐屋利遺跡の遺跡検討会を実施した。

(4) 講師派遣

京都府立大学からの講師派遣依頼により、土曜日に職員を交代で派遣し、集中講義「地域考古学Ⅰ・Ⅱ」を行っている。また、同志社大学、佛教大学・京都橘大学においても講師派遣依頼により職員を派遣した。